

Aplix



株式会社 アプリックス 第22回定時株主総会

平成19年3月29日

早稲田大学 国際会議場 井深大記念ホール

**議長
代表取締役社長**

関野 正明

本総会における株主数・議決権個数

議決権を有する株主数	6,448名
その議決権個数	100,946個

本日まで出席の株主数・議決権個数(昨日までの行使を含む)

議決権を有する株主数	796名
その議決権個数	54,290個

監査報告

常勤監査役

石井 英雄

報告事項



株式会社 アプリックス 第22期のご報告



当社グループの事業

- **民生用電子機器向けソフトウェアの
基盤技術の研究開発**
- **応用製品の開発・販売**
- **機器の計画・設計を支援する
顧客コンサルティング**

主力製品



携帯電話などでJavaという技術を使うための基盤となるソフトウェア

Java対応携帯電話



多様な機能やサービスを実現

海外の携帯電話市場

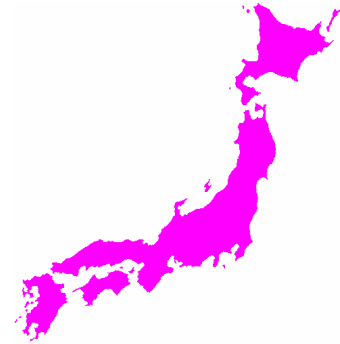


- **Java携帯向けサービスが急拡大**

- **Java携帯 年間販売台数**

5～6億台 (当社推測)

日本国内の携帯電話市場



- **第3世代携帯の市場投入**
- **NTTドコモ、ソフトバンクモバイルが多数の携帯にJavaを採用**
- **Java携帯 年間販売台数**
前年から横ばい 3300万台 (当社推測)



JBlend™ 搭載機器出荷台数

平成16年 5,600万台

平成17年 7,600万台

平成18年 1億3,420万台

累計出荷台数 3億350万台
(平成18年12月末時点)

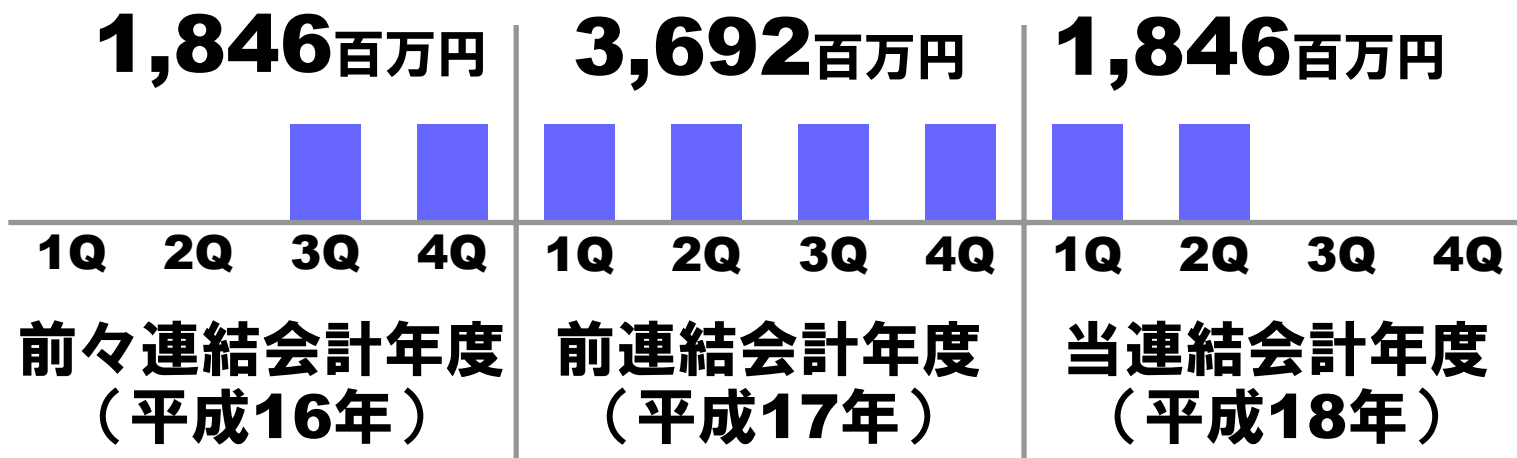
民生用電子機器の高機能化に伴い 多様化するニーズに応えるために

- 効率的な開発体制の構築を継続
- 地域別の営業・顧客サポート体制の導入
- 執行役員制度の導入(前年度より)

平成16年度の iaSolution 子会社化による 連結調整勘定の計上

2年間で均等償却

償却終了



平成17年11月30日

NTTドコモとの業務・資本提携発表

同12月21日

NTTドコモへ15,000株の第三者割当増資

**DoJa/Javaプラットフォームの共同開発
商用端末への採用**

**より高機能なソフトウェアを開発
中長期的な安定供給**

第22期業績

売上高 前年比31%増 **6,587百万円**

営業損失 **1,450百万円**

償却前営業利益(EBITDA) **黒字確保**
前年比13.3%減 **1,077百万円**

經常損失 **1,268百万円**

当期純損失 **1,608百万円**

売上の状況

 **JBlend™** 引き続き好調な成長を維持

NTTドコモFOMA向け

統一Javaプラットフォーム商用出荷本格化

KDDIと

Javaソフトウェアライセンス契約締結

海外市場の状況



**米国Motorola、韓国Samsung等
出荷好調**

**Lenovo、LG、SONY Ericsson等
顧客層の拡大達成**

国内メーカーの輸出用機種も堅調に推移

携帯電話以外の機器



サンヨー、日産
共同開発のカーナビに採用



デジタルテレビ、
セットトップボックス等にも
引き続き搭載



設備投資の状況

4,995百万円

資金調達の状況

新株予約権の権利行使による新株発行

39百万円

財産および損益の状況

招集ご通知の
7ページをご参照ください

対処すべき課題

顧客との関係強化

通信事業者、機器メーカーとの連携強化



東京本社



アメリカ・ヨーロッパ・アジアの拠点



横須賀・北京の
開発センター



沖縄評価
センター

対処すべき課題

製品の強化

製品・技術
の
単品受注

+

プラットフォームに
対応した
統合ソリューションの
提供

顧客あたりの受注の最大化

対処すべき課題

企業体質の強化

**製品・技術が多様化しても
管理コストを増加させない**

**収益性を確保・向上させる
経営管理システムの構築**

会社の概要

**招集ご通知の
11～16ページをご参照ください**

連結貸借対照表・連結損益計算書

連結貸借対照表

招集ご通知の17ページをご参照ください

総資産合計	23,727百万円
純資産	20,966百万円

連結貸借対照表・連結損益計算書

連結損益計算書

招集ご通知の18ページをご参照ください

売上高	6,587百万円
営業損失	1,450百万円
経常損失	1,268百万円
当期純損失	1,608百万円

単体の貸借対照表・損益計算書

招集ご通知の27～34ページをご参照ください

売上高	6,426百万円
営業利益	476百万円
経常利益	640百万円
当期純利益	331百万円

決議事項

議案内容のご説明

決議事項

第1号議案

定款一部変更の件

招集ご通知 **38~49**ページの
参考資料をご参照ください

決議事項

第2号議案

取締役7名 選任の件

アプリックス・
ソリューションズ

取締役.....

代表取締役社長.....

監査役.....

取締役候補者

1 郡山 龍

2 関野 正明

3 山科 拓

4 谷 直樹

5 渡邊 信之

6 太田 洋

7 内村 浩幸

ジェミナイ・モバイル・
テクノロジーズの最高
技術責任者を退任.....

招集ご通知

50~53ページの
参考書類をご参照ください

決議事項

第3号議案

監査役2名選任の件

監査役候補者

1 森谷 享右

2 今澤 正元

招集ご通知**54~55**ページの
参考書類をご参照ください

決議事項

第4号議案

補欠監査役1名 選任の件

補欠監査役候補者
石橋 省三

招集ご通知**56**ページの
参考書類をご参照ください

決議事項

第5号議案

株式等の大量買付行為に関する 対応プラン(買収防衛策)導入の件

招集ご通知**57**～**69**ページの
参考書類をご参照ください

買収防衛策導入の背景と目的

敵対的買収の顕在化

買収目的の大量買付でも、
是非の判断は株主の皆様にご委ねされるべき

しかし、突然大量買付されたら・・・

判断のための十分な時間と情報が提供されず、
結果として企業価値と利益が害される可能性

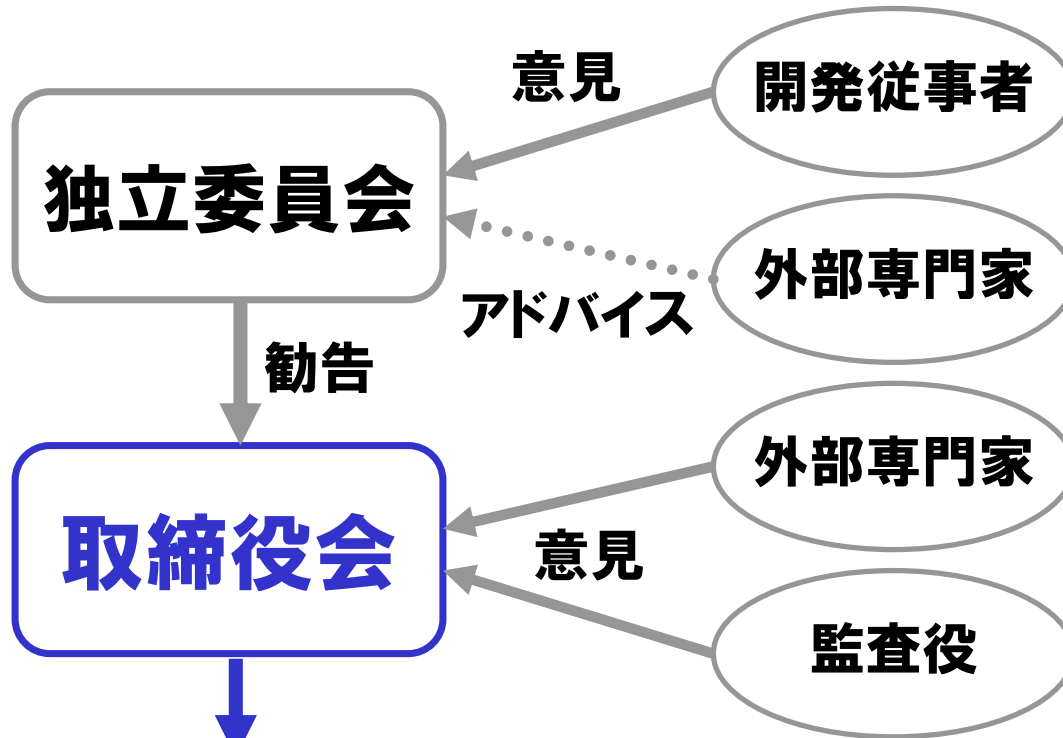
対抗手段調査の結果

一般的な事前警告型買収防衛策を導入

大量買付ルール



評価・検討プロセス



対応プランで定めたケースに
該当する場合のみ対抗措置発動

対応プラン導入の影響

導入時に、新株・新株予約権の発行は無い

株主の皆様のご権利や利益には直接影響しない

対抗措置の発動が決定した場合

株主の皆様が法的権利または経済的側面において格別の損失を被ることは想定していない

質疑応答

**報告事項・決議事項に関する
ご発言をお受けします**

**ご発言につきましては
挙手をお願いします**

第22回定時株主総会 閉会



株式会社 アプリックス